

製造業安全対策官民協議会 労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の普及促進に関するアンケート調査票

赤 最も比率が高 **黄色網掛** 災害発生率と実施割合に相関があると考えられるもの(災害発生率は低いほど高い)
青 最も比率が低 **青色網掛** 災害発生率と実施割合に相関があると考えられるもの(災害発生率は高いほど高い)

事業場規模100人以上1000人未満の360事業場のうち災害発生率が算出できる339事業場を、災害発生率が低、中、大の3グループに分けて集計

1. OSHMSの実施状況等について

問1-1 OSHMSの実施状況について、該当する番号にチェックをつけてください

選択肢	合計	比率
1. 導入済み(運用中)※	287	54%
2. 導入準備中(検討中を含む)※	26	5%
3. 導入していない	219	41%

合計	災害発生率 高	災害発生率 中	災害発生率 低
178	46	67	65
17	7	4	6
144	60	42	42

問1-1でOSHMSを1. 導入済み(運用中)と回答した方

問1-2 OSHMSの導入(運用)に当たり参考にされた基準について、該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答可)

選択肢	合計	比率
1. 厚生労働省OSHMS指針	114	40%
2. JISHA方式適格OSHMS基準(中災防)	104	36%
3. COHSMS(建災防)	0	0%
4. 業界団体等作成のガイドライン(自動車・化学・鉄鋼・鉱業・造船など)	22	8%
5. OHSAS18000シリーズ	110	38%
6. その他のOSHMS基準	34	12%

合計	災害発生率 高	災害発生率 中	災害発生率 低
178	46	67	65
68	18	22	28
73	16	23	34
0	0	0	0
8	4	2	2
64	20	26	18
19	7	9	3

問1-3 OSHMSの実施(運用)により事業場の安全衛生水準はどのように変わったと感じられますか。該当する番号にチェックをつけてください

選択肢	合計	比率
1. 明らかに向上した	55	19%
2. 向上した	211	74%
3. 変わっていない	14	5%
4. 低下した	0	0%
5. 分からない	5	2%

合計	災害発生率 高	災害発生率 中	災害発生率 低
178	46	67	65
36	4	12	20
132	39	51	42
7	2	3	2
0	0	0	0
3	1	1	1

問1-4 ※この質問は問1-3で「1.明らかに向上した」または「2.向上した」と回答した方にお伺いします。それは、どのようなことから結論づけられましたか。該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答可)

選択肢	合計	比率
1. トップの考えが安全衛生目標、計画に反映された	195	73%
2. 安全衛生管理の仕組みが標準化され、実施すべき活動が明確になった	226	85%
3. 安全衛生に対するライン管理者の役割が明確になった	156	59%
4. 内部監査により、活動結果の評価が行われ、次年度の活動のレベルアップにつながった	176	66%
5. 内部監査により、各職場の工夫や改善の情報が得られるようになった	151	57%
6. 職場のリスクが減少した	174	65%
7. 労働災害が減少した	90	34%
8. その他	2	1%

合計	災害発生率 高	災害発生率 中	災害発生率 低
168	43	63	62
123	28	48	47
140	36	54	50
92	21	30	41
110	23	44	43
97	23	40	34
111	26	40	45
59	9	24	26
1	0	0	1

問1-5 ※この質問は問1-4で「7.労働災害が減少した」を選んだ方にお伺いします。具体的に減少したものについて、該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答)

選択肢	合計	比率
1. 死亡災害	35	39%
2. 休業4日以上労働災害	67	74%
3. 休業1日以上労働災害	71	79%
4. 不労災害	71	79%
5. ヒヤリハット	14	16%

合計	災害発生率 高	災害発生率 中	災害発生率 低
59	9	24	26
19	2	0	17
42	8	13	21
48	7	19	22
48	5	22	21
12	1	5	6

問1-6 OSHMSの実施(運用)により得られたその他の効果について、該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答可)

選択肢	合計	比率
1. 安全衛生活動の活性化	226	79%
2. 安全衛生管理の責任の明確化及び組織的、継続的な実行が可能になること	249	87%
3. 安全衛生の費用対効果の向上	48	17%
4. 生産性の向上	37	13%
5. 従業員の士気(モラル)の向上	120	42%
6. 社会的信用の向上	79	28%
7. 取引がしやすくなること	14	5%
8. 労働組合との関係が良くなること	35	12%
9. 機械等を設置する際に行なう計画届の免除制度が活用できること	6	2%
10. その他	10	3%
11. 効果なし	1	0%

合計	災害発生率 高	災害発生率 中	災害発生率 低
178	46	67	65
144	36	53	55
154	36	61	57
27	7	9	11
20	4	4	12
75	19	26	30
51	13	19	19
9	2	4	3
20	5	5	10
4	0	3	1
9	2	5	2
0	0	0	0

問1-7 安全衛生計画・目標に盛り込み、PDCAサイクルで管理している主な事項について、該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答可)

選択肢	n= 287	
	合計	比率
1. 安全衛生委員会(安全委員会及び衛生委員会を含む)	266	93%
2. 4S(整理・整頓・清潔・清掃)活動	224	78%
3. 災害発生時の避難訓練	212	74%
4. 危険予知(KY)活動	254	89%
5. 指差し呼称活動	189	66%
6. ヒヤリ・ハット報告活動	261	91%
7. 安全衛生パトロール	277	97%
8. リスクアセスメントの実施	280	98%
9. 健康づくりに関する活動(社内の運動会や歩き推奨運動、禁煙支援など)	167	58%
10. 健康診断など健康管理に関する取り組み	235	82%
11. 安全衛生改善提案活動	196	68%
12. 安全又は危険の見える化に関する取り組み	196	68%
13. 安全衛生教育	260	91%
14. 関係請負人に対する指導(協会会社との協議会、合同パトロール、教育支援等)	209	73%
15. メンタルヘルス対策に関する事項	216	75%
16. 長時間労働の抑制に関する取り組み	163	57%
17. 休暇の取得促進に関する取り組み	97	34%
18. その他()	4	1%
19. 計画・目標を作成していない。	1	0%

合計	n= 178		n= 46		n= 67		n= 65	
	比率	災害発生率 高	比率	災害発生率 中	比率	災害発生率 低	比率	災害発生率 低
165	93%	42	91%	64	96%	59	91%	
138	78%	37	80%	50	75%	51	78%	
129	72%	32	70%	50	75%	47	72%	
158	89%	38	83%	61	91%	59	91%	
120	67%	30	65%	51	76%	39	60%	
167	94%	43	93%	61	91%	63	97%	
174	98%	44	96%	67	100%	63	97%	
175	98%	44	96%	67	100%	64	98%	
103	58%	21	46%	45	67%	37	57%	
148	83%	38	83%	56	84%	54	83%	
125	70%	31	67%	44	66%	50	77%	
129	72%	30	65%	54	81%	45	69%	
164	92%	44	96%	62	93%	58	89%	
131	74%	26	65%	56	84%	49	75%	
136	76%	34	74%	53	79%	49	75%	
107	60%	25	54%	43	64%	39	60%	
63	35%	12	26%	31	46%	20	31%	
2	1%	0	0%	2	3%	0	0%	
1	1%	1	2%	0	0%	0	0%	

問1-8 OSHMS認証等の取得の有無について、該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答可)

選択肢	n= 287	
	合計	比率
1. OHSAS18001	72	25%
2. JISHA方式適格OSHMS認定(中災防方式)	39	14%
3. COHSMS(建災防方式)	0	0%
4. その他のOSHMS	15	5%
5. 以前取得していたが、現在は取得していない	12	4%
6. 一度も取得していない	147	51%

合計	n= 178		n= 46		n= 67		n= 65	
	比率	災害発生率 高	比率	災害発生率 中	比率	災害発生率 低	比率	災害発生率 低
40	22%	12	26%	15	22%	13	20%	
29	16%	8	17%	10	15%	11	17%	
0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
8	4%	3	7%	3	4%	2	3%	
8	4%	2	4%	6	9%	0	0%	
93	52%	22	48%	33	49%	38	58%	

問1-9 ※この質問は問1-8で第三者認証等を取得している事業場(1~4と回答した方)にお伺いします。

選択肢	n= 128	
	合計	比率
1. 国際的に通用するから	24	19%
2. 安全衛生水準を向上させたいから	108	84%
3. 認証等に用いる規格・基準の信頼性	42	33%
4. 社会的信用を得るため	45	35%
5. 親企業の指導	29	23%
6. 取引先との関係	14	11%
7. 行政からの指導	4	3%
8. その他()	6	5%

合計	n= 77		n= 22		n= 28		n= 27	
	比率	災害発生率 高	比率	災害発生率 中	比率	災害発生率 低	比率	災害発生率 低
16	21%	4	18%	6	21%	6	22%	
69	90%	20	91%	24	86%	25	93%	
29	38%	6	27%	11	39%	12	44%	
29	38%	5	23%	11	39%	13	48%	
18	23%	5	23%	6	21%	7	26%	
11	14%	3	14%	5	18%	3	11%	
2	3%	2	9%	0	0%	0	0%	
3	4%	0	0%	2	7%	1	4%	

問1-10 ※この質問は問1-8で第三者認証等を取得している事業場(1~4と回答した方)にお伺いします。

選択肢	n= 128	
	合計	比率
1. 当該機関の信頼性	75	59%
2. 他の認証(ISO9001、14001等)で利用したことがあったから	68	53%
3. PR営業があったから	3	2%
4. 親企業、取引先等からの紹介・推薦があったから	20	16%
5. 料金がリーズナブルだから	0	0%
6. その他()	6	5%

合計	n= 77		n= 22		n= 28		n= 27	
	比率	災害発生率 高	比率	災害発生率 中	比率	災害発生率 低	比率	災害発生率 低
49	64%	13	59%	17	61%	19	70%	
39	51%	13	59%	12	43%	14	52%	
2	3%	1	5%	1	4%	0	0%	
12	16%	4	18%	4	14%	4	15%	
0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
3	4%	1	5%	1	4%	1	4%	

問1-11 ※この質問は問1-8で第三者認証等を取得している事業場(1~4と回答した方)にお伺いします。

選択肢	n= 128	
	合計	比率
1. 審査基準、規格について深く理解をしている。	92	72%
2. 厚労省OSHMS指針等について深く理解をしている	55	43%
3. 労働安全衛生法令を深く理解している	100	78%
4. 組織・業態の背景を理解している	80	63%
5. 4S、KYTのような従来から日本で行われている安全衛生活動について理解をしている	66	52%
6. 労働災害防止のための改善事項の推奨事項を的確に示すことができる。	95	74%
7. 審査経験が豊富である。	72	56%
8. その他()	0	0%
9. 特に期待していない	0	0%

合計	n= 77		n= 22		n= 28		n= 27	
	比率	災害発生率 高	比率	災害発生率 中	比率	災害発生率 低	比率	災害発生率 低
60	78%	15	68%	24	86%	21	78%	
34	44%	6	27%	12	43%	16	59%	
64	83%	17	77%	21	75%	26	96%	
48	62%	13	59%	15	54%	20	74%	
42	55%	11	50%	17	61%	14	52%	
61	79%	17	77%	23	82%	21	78%	
45	58%	12	55%	17	61%	16	59%	
0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	

問1-12 ※この質問は問1-8で第三者認証等を取得していない事業場(5.~6.と回答した方)にお伺いします。

OSHMS認証等を取得しない(取得をやめた)理由について、該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答可)

選択肢	n= 159	
	合計	比率
1. 第三者による評価は必要ない	66	42%
2. 取得した後のメリットがない	40	25%
3. 取引等に影響がない	38	24%
4. 予算が確保できない	0	0%
5. 取得に係る料金(更新等も含む)が高い	14	9%
6. 取得まで時間がかかる	13	8%
7. 取得、更新のために過大な労力を要する	74	47%
8. 安全衛生水準の向上にあまり効果がない	17	11%
9. その他()	44	28%

(参考)問1-12の回答うち問1-8で5. 以前取得していたが、現在は取得していないと回答した事業場

選択肢	n= 12	
	合計	比率
1. 第三者による評価は必要ない	0	0%
2. 取得した後のメリットがない	2	17%
3. 取引等に影響がない	1	8%
4. 予算が確保できない	0	0%
5. 取得に係る料金(更新等も含む)が高い	3	25%
6. 取得まで時間がかかる	0	0%
7. 取得、更新のために過大な労力を要する	4	33%
8. 安全衛生水準の向上にあまり効果がない	1	8%
9. その他()	7	58%

合計	n= 101		n= 24		n= 39		n= 38	
	合計	比率	災害発生率 高	比率	災害発生率 中	比率	災害発生率 低	比率
39	39%	7	29%	9	23%	23	61%	
24	24%	8	33%	12	31%	4	11%	
22	22%	8	33%	9	23%	5	13%	
0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	
10	10%	2	8%	5	13%	3	8%	
7	7%	3	13%	3	8%	1	3%	
46	46%	12	50%	12	31%	22	58%	
7	7%	3	13%	4	10%	0	0%	
32	32%	5	21%	18	46%	9	24%	

その他(自由記述)

- ・自主的運用が出来るようになった
- ・外部機関の認証取得後、仕組みが確立できたので、他力ではなく自力活動強化していく目的で中止した。

問1-1でOSHMSを1. 導入済み(運用中)又は2. 導入準備中(検討中を含む。)と回答した方

問1-13 OSHMSを構築、導入を検討する段階で、困難となっている点(なった点)について、該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答可)

選択肢	n= 313	
	合計	比率
1. 人材の育成	195	62%
2. 人員の確保	141	45%
3. リスクアセスメントの実施方法	113	36%
4. 内部監査の実施方法	114	36%
5. 安全衛生目標・計画の作成	30	10%
6. 文書の作成	155	50%
7. 経営トップの理解	12	4%
8. 全員の理解	154	49%
9. 労働組合との調整・合意他	9	3%
10. 予算	26	8%
11. その他()	10	3%

合計	n= 195		n= 53		n= 71		n= 71	
	合計	比率	災害発生率 高	比率	災害発生率 中	比率	災害発生率 低	比率
125	64%	31	58%	46	65%	48	68%	
87	45%	21	40%	27	38%	39	55%	
73	37%	23	43%	30	42%	20	28%	
75	38%	20	38%	24	34%	31	44%	
19	10%	5	9%	10	14%	4	6%	
96	49%	26	49%	27	38%	43	61%	
7	4%	4	8%	2	3%	1	1%	
88	45%	30	57%	33	46%	25	35%	
4	2%	2	4%	1	1%	1	1%	
16	8%	2	4%	6	8%	8	11%	
6	3%	2	4%	2	3%	2	3%	

問1-14 OSHMSを構築、導入する際に、外部からの支援で必要なもの(必要だったもの)について、該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答可)

選択肢	n= 313	
	合計	比率
1. 人材育成のための研修	219	70%
2. 個別のアドバイス	129	41%
3. 外部機関による監査	70	22%
4. 外部機関による認定・認証等	65	21%
5. 事例等の情報提供	115	37%
6. 費用の助成	11	4%
7. その他()	4	1%
8. 特に必要としない	30	10%

合計	n= 195		n= 53		n= 71		n= 71	
	合計	比率	災害発生率 高	比率	災害発生率 中	比率	災害発生率 低	比率
138	71%	39	74%	52	73%	47	66%	
87	45%	22	42%	28	39%	37	52%	
38	19%	16	30%	9	13%	13	18%	
38	19%	13	25%	12	17%	13	18%	
65	33%	20	38%	25	35%	20	28%	
6	3%	2	4%	2	3%	2	3%	
2	1%	1	2%	0	0%	1	1%	
17	9%	5	9%	7	10%	5	7%	

問1-1でOSHMSを3. 導入していないと回答した方の質問

問1-15 OSHMSを導入しない理由について、当てはまる番号すべてにチェックをつけてください(複数回

選択肢	n= 219	
	合計	比率
1. 現行の安全衛生管理で十分有効	93	42%
2. メリットがない、効果が期待できない	29	13%
3. 品質・環境マネジメントシステムを導入した時の負担が大きかった	68	31%
4. 必要な人材の育成及び確保が難しい	104	47%
5. 構築のための体制の整備が大変である	110	50%
6. 予算が確保できない	21	10%
7. 参考図書や情報が少ない	17	8%
8. 他社の状況待ち	27	12%
9. 導入を手助けしてくれる機関等がない	6	3%
10. その他()	39	18%

合計	n= 144	n= 60		n= 42		n= 42	
		災害発生率 高	災害発生率 中	災害発生率 低	災害発生率 低		
63	44%	26	43%	18	43%	19	45%
23	16%	9	15%	10	24%	4	10%
50	35%	20	33%	17	40%	13	31%
69	48%	31	52%	19	45%	19	45%
76	53%	30	50%	24	57%	22	52%
9	6%	8	13%	1	2%	0	0%
13	9%	6	10%	5	12%	2	5%
18	13%	9	15%	4	10%	5	12%
3	2%	1	2%	2	5%	0	0%
23	16%	8	13%	6	14%	9	21%

(参考)規模別のOSHMSを導入しない理由(問1-15と事業場規模のクロス集計)

選択肢	n= 73		n= 95		n= 51	
	300人以上		100人~299人		100人未満	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
1. 現行の安全衛生管理で十分有効	36	49%	39	41%	18	35%
2. メリットがない、効果が期待できない	15	21%	10	11%	4	8%
3. 品質・環境マネジメントシステムを導入した時の負担が大きかった	29	40%	28	29%	11	22%
4. 必要な人材の育成及び確保が難しい	31	42%	45	47%	28	55%
5. 構築のための体制の整備が大変である	32	44%	51	54%	27	53%
6. 予算が確保できない	5	7%	8	8%	8	16%
7. 参考図書や情報が少ない	6	8%	8	8%	3	6%
8. 他社の状況待ち	14	19%	9	9%	4	8%
9. 導入を手助けしてくれる機関等がない	3	4%	0	0%	3	6%
10. その他()	12	16%	16	17%	11	22%

問1-16 どのような事項があれば導入を検討する材料となるか、該当する番号すべてにチェックをつけてください(複数回答可)

選択肢	n= 219	
	合計	比率
1. 社会的な信用度がアップする	64	29%
2. 労働災害が大幅に少なくなる	137	63%
3. 労働保険料の割引等の費用面でのメリット	66	30%
4. OSHMS導入に要する費用の助成措置など	50	23%
5. 取引先からの要請	87	40%
6. 親会社からの導入指示	58	26%
7. 入札参加等の条件となる	14	6%
8. 行政機関からのインセンティブ	39	18%
9. その他()	25	11%

合計	n= 144	n= 60		n= 42		n= 42	
		災害発生率 高	災害発生率 中	災害発生率 低	災害発生率 低		
41	28%	15	25%	17	40%	9	21%
98	68%	41	68%	31	74%	26	62%
42	29%	24	40%	9	21%	9	21%
28	19%	16	27%	6	14%	6	14%
60	42%	26	43%	21	50%	13	31%
37	26%	13	22%	12	29%	12	29%
9	6%	4	7%	4	10%	1	2%
28	19%	9	15%	14	33%	5	12%
16	11%	4	7%	2	5%	10	24%

2. 安全衛生活動等の実施状況等について (以降、全ての方についてお答えください。)

問2-1 実施している(OSHMSに関連していない場合も含めて)安全衛生活動等と労働災害防止の効果についてどう感じられるか、1から5のうち該当する番号をお選びください。

項目	実施していない	実施している				実施していない	実施している				実施していない	
		効果が高い	効果がやや高い	効果はやや低い	効果は低い		効果が高い	効果がやや高い	効果はやや低い	効果は低い		
安全衛生委員会(安全委員会及び衛生委員会を含む)	528	272	219	33	4	1	100%	52%	41%	6%	1%	0%
4S(整理・整頓・清潔・清掃)活動	528	307	186	31	4	1	100%	58%	35%	6%	1%	0%
火災や地震など災害発生時の避難訓練	524	208	224	71	21	1	99%	40%	43%	14%	4%	0%
作業開始時等のミーティング	524	328	165	29	2	4	99%	63%	31%	6%	0%	1%
作業の安全に関する手順書の作成	520	292	199	28	1	9	98%	56%	38%	5%	0%	2%
非定常作業時の対応・手順書の周知徹底	521	309	173	35	4	7	98%	59%	33%	7%	1%	1%
危険予知(KY)活動	522	325	169	25	3	7	99%	62%	32%	5%	1%	1%
指差し呼称活動	507	261	185	56	5	20	96%	51%	36%	11%	1%	4%
ヒヤリ・ハット報告活動	523	294	188	36	5	6	99%	56%	36%	7%	1%	1%
安全衛生パトロール	529	292	183	49	5	0	100%	55%	35%	9%	1%	0%
リスクアセスメントの実施	520	277	201	35	7	8	98%	53%	39%	7%	1%	2%
朝・昼・終礼での安全衛生講話	441	83	231	110	17	85	83%	19%	52%	25%	4%	16%
社内の運動会や歩き推奨運動など健康に関する活動	395	45	124	171	55	131	75%	11%	31%	43%	14%	25%
安全衛生改善提案活動	499	168	225	96	10	29	94%	34%	45%	19%	2%	5%
ストレスチェック制度を活用した職場環境改善	495	77	188	188	42	31	94%	16%	38%	38%	8%	6%
その他()	34	17	12	4	1	24	6%	50%	35%	12%	3%	5%

